

姉妹交流ライブラリー

北米大学院生研修事業
について

(財)自治体国際化協会交流情報部交流親善課

これらのほか、受入自治体と研修生が相談して、研修生が研究する分野についての実務研修等を行います。

研修期間

大学の夏期休暇（六～八月ごろ）に合わせて、約三カ月間程度の研修を実施します。

平成二年度受入自治体の募集について

現在、平成二年度に研修生を受け入れていただけの自治体を募集しています。

来年度は、左記のとおり実施要綱を見直し、より充実した事業を目指します。

研修生

大学院生（大学院相当の研修成果を上げることが見込まれる大学生も含む）

受入自治体の負担
研修生の住居（原則ホームステイ）
公務に係る旅費

その他

来日・離日にかかる渡航費は研修生または在籍大学が負担します。

研修期間中の研修生の傷害保険費用は、当協会が負担します。

本年の事業について

本年度は、ハーバード大学教養学部のア

当協会では、日本に対して研究熱心なアメリカおよびカナダの大学院生を対象に、日本において研修生として受け入れる事業を実施しています。当事業は平成六年度に募集を開始し、平成七年度の初受入れから今年度まで、合計四〇人が参加しています。北米の現役大学院生が実務研修を通じて日本の文化および習慣に触れ合うことで、日本への理解を深めるとともに受入自治体の国際化促進の一助にもなっている事業であり、毎年、研修生、受入自治体の双方から好評を得ています。本年度はアメリカから一人の研修生が参加し、愛知県岡崎市にて研修を行いました。

事業の概要

研修の目的

研修生が日本の自治体で実務研修を行うことにより、日本の地方制度や地域社会に対する理解を深め、自己の研究の成果を上げることに、ならびに受入自治体における地域の国際化を推進し、日本と北米との相互理解を深めることが目的です。

研修の内容

研修内容および研修期間については、各受入自治体が決定します。研修内容は主に次のものが挙げられます。

- ・ 市内の部局での実務研修および意見交換
- ・ 各関係団体での視察、研修および意見交換
- ・ 国際交流事業や地域のイベントへの参加
- ・ 住民との交流

レクサンダー・G・ベドウェル氏が愛知県岡崎市で、六月から八月までの二カ月間にわたり研修しました。

八月八日に当協会で行われた研修成果発表会では、研修生が受入自治体で受けた研修の成果や、体験などを日本語で発表しました。また、発表会には受入自治体以外の自治体からも参加をいただき、発表後の意見交換会では研修生の研修内容をもとに活発な意見交換会が行われました。

研修生の紹介

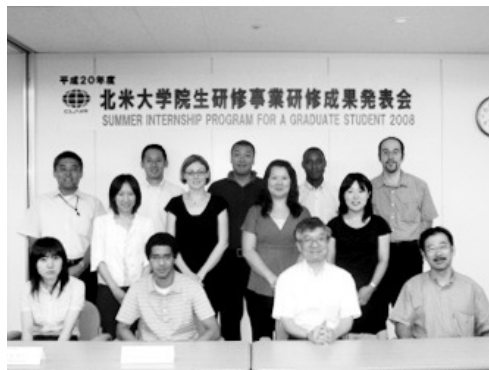
「アレクサンダー・G・ベドウェル 氏」

ハーバード大学教養学部大学院生で、東アジア地域研究を専攻しています。

日本の行財政分野に対して関心があります。今回の研修では、「岡崎市と外国人労働者との関係」をテーマに研究を行いました。

研修の様子

愛知県岡崎市では文化国際課に受け入れていただき、行財政分野を中心に業務説明や意見交換を行い、職員研修にも参加しました。地域の多文化共生施設「OICC」で英会話講座や出身国紹介セミナーを担当し、日本語教室・サロンへも参加しました。



↑成果発表会（東京）



↑盲学校訪問

研修成果発表会

多文化共生について、「市に寄与する外国人にどういった施策が必要か」という点をまとめた発表でした。その後、意見交換を行い、研修を終えました。

おわりに

本事業は、短期間かつ低予算にて地域の国際化を促進する契機となる有効な事業であると考えています。

今後、地域国際化推進と国際交流に貢献できる人材育成のために事業を継続していきます。



↑マンスリーイングリッシュサロン



↑研修風景（チャットサロン）

お問い合わせ

(財)自治体国際化協会 交流情報部

交流親善課

TEL 03-5213-1723

FAX 03-5213-1742